

ぼくと私の神社ウオッチング



結団式にて三浦委員長より挨拶



お白石をいただく



お白石持行事行列参加



花火大会を楽しむ子供たち

愛知県神社庁は8月22・23日の2日間、三重県にて夏季恒例の「ぼくと私の神社ウォッチング」を開催し、県内の神職子弟等84名が参加した。

本行事は各氏神様の護持運営を担う次世代の後継者育成を目的として毎年行われており、本年は特に第62回神宮式年遷宮の佳節にあたる事から「お白石持ち行事」に特別新領民として奉仕し、本宗と仰ぐ神宮との神縁を深める事を趣旨に掲げて実施した。

一行はまず熱田神宮文化殿にて集合。結団式では白井清夫副庁長より、「お白石持ち行事は20年に1度の貴重な行事です。熱中症に気をつけて良い思い出を作ってください」と挨拶、三浦正典教化委員長からも「とても暑い時期なので体調に気をつけて、たくさんのお話を学んでください」との発言があった。結団式後熱田神宮を正式参拝し、バスは一路三重県度会郡へ移動、皇太神宮別宮の瀧原宮を自由参拝し、同宮神職より御鎮座の由来等の説明を受けた。

次に一行は二見興玉神社を訪れ、古式にならない浜参宮を行い、夕刻宿泊地である潮香苑に到着した。夕食後は隣接する二見浦の浜辺にて花火大会を開催、子ども達からは歓声があがり、親子の絆を深めるひとときとなった。

翌朝は外宮前浴道に集合し、お白石が積まれた奉曳車を、親子ともども「エンヤ」「エンヤ」のかけ声も高らかに曳き進んだ。そしてお祓いを受け外宮内を進み、御垣内に入り、真新しい御正殿近くにお白石を奉献した。

午後からは神宮について更に認識を深めるべく、明和町の斎宮歴史博物館を訪れた。一行は「斎王群行」と題する映像や、斎宮跡から出土した展示品等を見て、斎王や斎宮の歴史を学んだ。そして同館内にて結団式を行い、三浦教化委員長から、「来年も楽しい行事を企画しますので、是非皆さん御参加下さい」と締めくくられ、2日間の思い出を胸に帰路についた。